

特別活動（ホームルーム）指導案

令和3年11月5日（金）5・6校時（13:40～15:30） 3年3組教室 指導者 寺崎 絵美（T1）

3年4組教室 学級担任（T2）

1 題材名 「振り返りの力」

2 題材観（生徒の実態を含む）

本題材は、高等学校学習指導要領第5章第2〔ホームルーム活動〕の2「内容」（3）一人一人のキャリア形成と自己実現「ア 学校生活を社会的・職業的自立の意義の理解」に関わるものである。

実践協力校は、全国でも有数の系列数を要する総合学科の高等学校である。15年前に安中高等学校と安中実業高等学校の2校が統合し、総合学科としてスタートを切った。農業・工業・商業・福祉・保育といった実業系の系列、音楽・美術・スポーツのような一分野に特化した系列などがある。1学年次に共通履修をしながら自分の専門とする系列をどれにするのかということ、深く考えることができる点は学校の特色の一つと言える。生徒からの学校評価アンケートでも満足度は高い。一方で、同アンケートの「将来の進路に向けて計画的に学習し、学習成果に満足できる生徒が80%以上である」という項目に対しては過半数の生徒が否定的な回答をしていた。このアンケートは年2回実施しているが、改善傾向が見られず、進路指導上の課題となっている。

生徒の半数以上が就職を希望し、卒業後すぐ社会に出ていくことを考えると、学校生活で生じている課題に対し、その解決を探っていく姿勢をもつことは基礎的・汎用的能力の一つである「課題対応能力」とも重なり、必要なものであると考えた。日々の生活から生じた課題を主体的に改善しようとする態度は社会の形成者として欠かせず、振り返りの活動などを通して前向きに取り組む力に変えていくことが必要であると考えた。

以上より、ある場面やこれまでの学校生活を課題とし、他者と共に振り返りながら様々な価値観や考え方を取り入れ、解決を目指すことで「課題対応能力」が育成できると考え、本題材を設定した。

3 研修との関わり

システム・アルファ株式会社は、基幹システムの構築・OA機器等販売を主とする企業である。顧客が情報システムを導入する目的は、顧客のもつ課題を解決することである。そこで求められる人材像は「主体的な姿勢」「他者と協力しながら課題解決する」「論理的思考力及びそれを表現する力」の3点である。「漏れなく・被りなしのシステム」を作るためには、論理的思考を働かせ、他者（顧客・同僚）と情報共有して課題解決に努めなければならない。

本研修では、教育DX推進コーディネーターへの後方支援や学習用端末の使い方動画作成、県立学校ヘルプデスク業務などに携わっている。各業務は現場や顧客のもつ課題を設定し、課題の深掘りや現状の正確な把握などを他者と協働しながら行い、その課題の真因に対して誰でも対処できるような状態とすることを課題の解決としている。また、課題に取り組む際には自分たちが「何をどのようにできるのか・できないのか」といったことも情報共有することが求められている。個人の能力に頼った課題対応では、組織として課題を解決したとは言えないからである。このため他者と協力しながら課題解決に向かう姿勢が強く求められている。

企業研修を通して、ある課題を自分なりに考察し、他者と共有しながら課題解決に向かう姿勢は、学校生活上に起こる出来事を課題として生徒に取り組みせることで培えるものではないかと考えるようになった。他者と話し合い、その結果を情報共有することでよりよい課題対応につながるということが、社会でも通用する資質・能力だと伝えられるよう、努めていきたい。

4 指導方針

- (1) 自分の考えと他者の考えとを比較させる場面を多く設定し、よりよい意見の醸成につながることに気付かせる。
- (2) ICTを活用し、クラスを横断して意見を集約することで、個々が課題解決に向かうための判断材料を増やす。

5 評価規準（事前の活動→本時の活動→事後の活動）

評価規準	よりよい生活を築くための知識・技能		
	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	課題に対し解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。	
	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度		
時間	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
	知識・理解	思考・判断・実践	
事前の活動			・事前アンケートとして「文化祭のたこ焼き屋」と「高校生活の振り返り」に答える。
本時の活動	・自他の意見を比較検討することの重要性を理解することができる。	・話し合いを通して情報共有を図り、課題に対する考察を深めることができる。 ・課題の本質について考察できる。 ・課題解決に向けた自分なりの見方や考え方を持つことができる。	・事前の活動を基に、個人の考察を深め、グループワークとして意見交換や情報の共有をする。 ・課題の解決に向けた考え方を、自他の意見を比較検討しながらまとめる。
事後の活動			・振り返りアンケートに答える。

6 本時の学習指導

- (1) **ねらい** 振り返りや話し合いを通して、課題の原因を究明し、課題解決に向けた自分なりの見方や考え方を持つことができる。
- (2) **準備** 【教員】 学習支援ソフト、ワークシート、表計算ソフト、掲示用スライド、これらのプリント（紙 | 予備として）
【生徒】 学習用 ICT 端末、筆記用具
- (3) **展開**

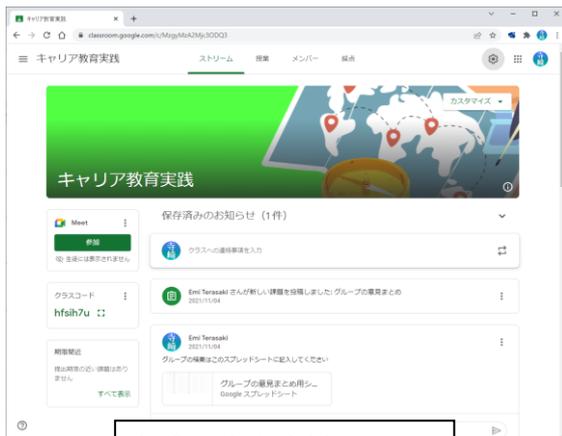
学習活動 —予想される生徒の反応—	時間	・指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価) (太字はキャリア教育との関わり)
<導入> ・本時の目標をつかむ。	7分	・システム・アルファでの業務説明から体験談や「求められている姿勢」について伝える。 ・見つめ直す姿勢とそれを伝え合う態度が大切であることを伝える。
<展開> ・事前アンケート「文化祭のたこ焼き屋」を思	15分	◎アンケート内容を振り返る。 ・自分の意見と社員との相違を考えさせる。

<p>い出し、自分が付けた順位・理由とほかの人が付けた順位・理由を比較する。 (社員の意見も紹介し、参考資料とする。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい展開を目指すなら、誰がどうするのが一番効果的だったのかを個人で考える。 <p>—予想される生徒の反応—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えと同じ人がいる。 ・全然違う考えの人がいる。 ・社会人は、このような考え方をするのか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・誰に対してどのような働きかけが重要なのかを具体的に考えさせる。 ・考え方にどのような変化があったかを振り返らせる。
<ul style="list-style-type: none"> ・グループで意見を共有し合い、意見をまとめる。 ・指定された表計算ソフトに入力する。 <p>—予想される生徒の反応—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを説明する。 ・ほかの人の意見に感心した。 ・互いの意見を踏まえてまとめる。 	18分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループとして、「よりよい展開を目指すなら、誰がどうするのが一番効果的だったのか」をまとめる。 ・皆が納得できるように色々な視点から自分たちの意見を検討させる。 ・ほかのグループの意見を見て、更に考察を深められるよう、声掛けをしていく。 <p>◎一人一人が「自分がどのようによいと感じたのか」考えるよう、注意を促す。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・各グループのまとめを見て、先ほどの時間で参考になった意見が何だったか、どのような点が参考になったのか、振り返る。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・考えの変化について、自分が何を掴んだか考えさせる。 <p>「課題対応能力」 ◇自他の意見を比較検討することの重要性を理解することができる。【知識・理解】 (ワークシート)</p>
<p>休み時間 10分</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・前時の取組方法を応用し、自分たちの問題として学校評価アンケートから読み取れる問題を取り扱う。 	7分	<ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケートの結果とも比較をし、具体的な問題点を絞り込む。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケートの結果から「どのようにすれば計画的に学習ができるか」について、ほかの人の意見も参考にしながら個人で考える。(社員の意見も紹介し、参考資料とする。) <p>—予想される生徒の反応—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの自分はどうかっただろうか。 ・あまり思い出したくないな。 ・原因は何だろう。 	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時を踏まえ、問題の原因・理由をそれぞれ考えさせる。 ・具体的な解決策を考えさせる。
<ul style="list-style-type: none"> ・意見を共有し合い、グループとしての改善案を考える。 ・指定したまとめ用表計算ソフトに入力する。 	18分	<ul style="list-style-type: none"> ・話合いに更により意見が出やすくなることを気付かせる。 ・前時のように、色々な視点から自分たちの意見

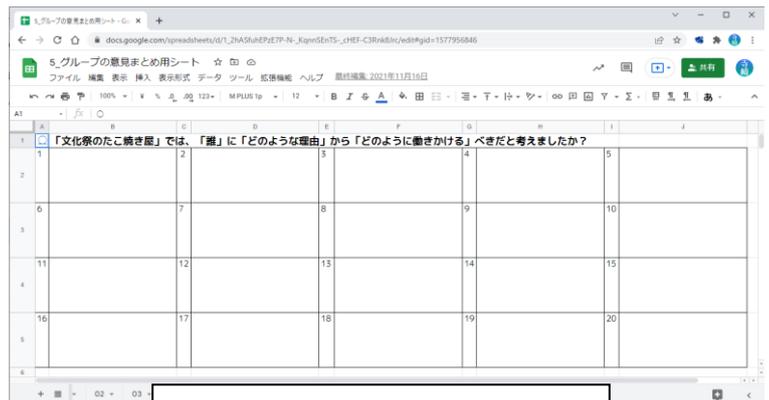
<p>—予想される生徒の反応—</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを説明する。 ほかの人の意見に感心した。 思いもしない観点があった。 		<p>を検討させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他グループの意見を見て、更に考察を深められるよう、声掛けをしていく。
<p><まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> 参考になった意見が何だったか、どのような点が参考になったのかを共有する。 自分が次回の試験に生かせそうだと思うものを取り上げ、試験に対する意識を確認する。 <p>—予想される生徒の反応—</p> <ul style="list-style-type: none"> これからの自分はどうか。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> 今後の自分にとって、どのような考え方が活用できるかを考えさせる。 <p>「課題対応能力」 ◇課題解決に向けた自分なりの見方や考え方を持つことができる。【思考・判断・表現】 (ワークシート)</p>

※資料添付

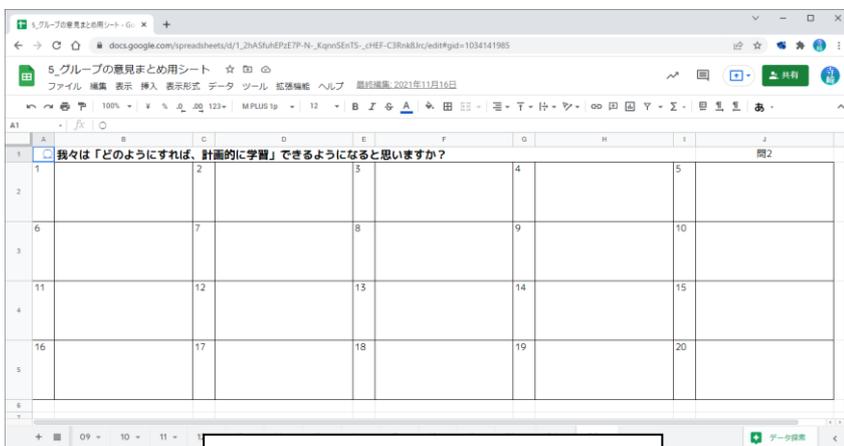
- 資料(学習支援ソフト・まとめ用表計算ソフト)
- ワークシート (別紙)



授業用学習支援ソフト



まとめ用表計算ソフト_5校時用



まとめ用表計算ソフト_6校時用